

富山県におけるハヤブサの繁殖初記録

篠田耕児¹・松木 洋²・矢田浩一郎³

1. 〒930 富山市五福10区4563 天龍荘7号
2. 〒939-03 富山県射水郡小杉町太閤山2-5 県営住宅2-103
3. 〒939-01 富山県高岡市伏木古国府7-27

ハヤブサ *Falco peregrinus* は、富山県では、従来、冬鳥として渡来するとされてきた（富山県 1977, 富山県野鳥保護の会 1989）。しかし、1988年頃から年間をととして記録されるようになり、繁殖の可能性も示唆されてきた（松木 1993）。筆者らは、1993年に県西部においてはじめてハヤブサの繁殖を確認したので報告する。

本論文作成にあたり、原稿に目をとおしていただいた希少猛禽類研究センターの池田善英氏にお礼申しあげる。

1989年5月、富山湾に面する高さ約60mの砂岩質の崖で、成鳥2羽のハヤブサを観察した。1990年3月25日には、成鳥1羽が獲物を足につかんで、崖にある藪の中へはいっていきのがみられた。1991年、1992年と引きつづき成鳥2羽は観察できたが、巣の確認はできなかった。

1993年5月27日、この崖の中央に巣があるのを確認した。親鳥とほぼ同じくくらいの大きさになった幼鳥4羽が確認され、巣の周囲には幼鳥の糞が白くこびりついていて（図1）。巣は崖の中央部の高



図1. ハヤブサの巣。

Fig. 1. Nest of Peregrine Falcons.

1994年11月25日受理

キーワード：富山県、ハヤブサ、繁殖記録

さ30m程の所にあり、少し奥行きのある横穴とオーバーハングのある岩棚とからなっていた。13:20に親鳥が岩棚にドバトラしい鳥を運んできた。幼鳥4羽はそれを10分ほどかけて摂食した。4羽の幼鳥のうち、2羽は頭の色がかなり暗褐色になっていたが、ほかの2羽は白い幼鳥羽が目立った。

6月10日には崖の上部に、すでに巣立ちした3羽の幼鳥がいて、うち1羽は短い飛翔をくり返していた。4羽いたうち残りの1羽は不明である。

その後、3羽の幼鳥は次第に飛ぶ範囲を広げ、蝶や甲虫などの昆虫を空中でつかんで食べたり、ツバメを追いかけたり、空中でお互いに蹴りあう行動がみられた。7月1日には、親鳥、幼鳥ともに巣の周辺では姿がみられなくなった。

1994年には、6月1日に2羽の幼鳥の巣立ちを確認した。

保護上の理由から詳細な位置は記さなかったが、営巣地は人間の活動地のすぐ近くにある。海岸線から巣のある崖までは80m位の距離があり、その中間辺りに国道が通っている。国道沿いには民家や飲食店が立ちならんでいるが、住民はハヤブサの存在に気がついていないようであった。人の妨害さえなければ、引きつづき繁殖が行なわれると思われる。

引用文献

松木洋. 1993. 新湊の野鳥. 新湊市教育委員会, 新湊.

富山県. 1977. とやまの野生鳥獣. 富山県自然保護課, 富山.

富山県野鳥保護の会(編). 1989. 富山県の鳥類——自然環境管理計画策定のための調査. 富山県自然保護課, 富山.

First breeding record of Peregrine Falcons in Toyama Prefecture

Koji Shinoda¹, Hiroshi Matsuki² and Koichiro Yata³

¹ Tenryuso 7, Gofuku 10ku 4563, Toyama-shi 930; ² Kenneijutaku 2-103, Taikoyama 2-5, Kosugi-machi, Imizu-gun, Toyama 939-03; ³ Fushikifurukokufu 7-27, Takaoka-shi, Toyama 939-01

Nesting of a pair of Peregrine Falcons *Falco peregrinus* was first recorded on May 27, 1993 in Toyama Prefecture, central Honshu. The nest with 4 nestlings were on a ledge of a cliff about 60 m high facing Toyama Bay. Three juveniles fledged in 1993, and two in 1994.

Key words: breeding record, *Falco peregrinus*, Toyama Prefecture